

町政 一般質問 を問う！



一般質問とは、議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



6月定例会では、5人の議員が12項目にわたり一般質問を行いました。

※ 1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。

一般質問の全文はホームページでご覧いただけます。（6月定例会の内容は9月末に掲載予定です）



佐藤 幸一 議員 8ページ

- 1 清水町葬斎場の冷房設備の設置について
- 2 清水高等学校への給食提供の見直しについて



山本 奈央 議員 11ページ

- 1 高齢者が安心してデジタル社会を利用できる環境づくりについて
- 2 「いちまる」跡地に関する町の対応について



中河 つる子 議員 9ページ

- 1 役場ロビーに、庁内を案内する係を配置したらよいのではないか
- 2 役場から町民に発送する文書は誰もが理解できるような内容とし、スマホがなければ分からないような文書にはしないほしい
- 3 ハーモニープラザを清水町の観光をPRする場所として、もっと活用したらよいのではないか



川上 均 議員 12ページ

- 1 多様化する「終活」への支援と地域における共生社会の実現について
- 2 地域を支え、未来を育む教育環境の充実について
- 3 災害に強く、安全・安心なまちづくりの推進について



鈴木 孝寿 議員 10ページ

- 1 清水町から十勝清水町への改名への考え方について
- 2 敬老に関する考え方と名誉町民条例について

各議員のページにある「QRコード」を読み込むと、それぞれ一般質問のやり取り（YouTube映像）をご覧になります。

清水町葬斎場の冷房設備の設置について



佐藤 幸一 議員

町長 新年度に向けて設置を検討し、利便性の向上を図りたい



扇風機使用中の葬斎場

佐藤議員の
一般質問全編



問

令和5年12月定例会で前町長に質問したが、多額の支出が伴うので困難であるとの答弁であった。

今後も猛暑が続くと思われるが、亡くなられた方との最期のお別れをする葬斎場に、冷房設備の設置を望む町民の声に添えていただきたいと考えているが、町長の見解を伺う。

町長

近年の地球温暖化の影響により本町においては、公共施設に冷房設備の整備を計画的に順次実施しているところである。

葬斎場は築49年を経過した施設であり、公共施設等総合管理計画、改築等の検討が必要と位置付けられている。

気温の高い時期には30件〜40件の利用があることから、新年度に向けて、冷暖房設備の設置を検討し、利便性の向上を図りたいと考えている。

清水高等学校への給食提供の見通しについて

教育長 現状では難しいが、他自治体の調査を進めていきたい

問

清水高等学校への支援として、生徒への給食提供は、町長の選挙公約である。しかし、

の給食を提供できる規模であり、大幅に食数を増やすとなると大規模改修が必要となる。

3月定例会で私の質問に対し、山下教育長は「考えていない」との答弁であった。

さらに、人手不足により限られた人数の中で地場産品を活用した清水ならではの給食を提供するには、人的、かつ時間的なゆとりを確保することができないことや、調理員などへの負担がさらに大きくなることで、今後の食の安全・安心を守る

改めて、町長に清水高等学校への給食提供の見通しについて伺う。

ことが厳しくなるものと考えられる。

教育長

現在、町内のパン屋さんに週3回昼食時に販売していただいております、好評である。

これらの理由から、現状給食提供は難しいものと考えているが、他自治体の状況などをさらに調査していきたい。

高校への給食提供については、道立高校であるため、道教委と協議し、理解を得る必要がある。

また、本町の給食センターは1日700食程度

役場ロビーに、庁内を案内する係を配置したらよいのではないか



中河 つる子 議員

町長 戸籍住民係に総合案内的な役割を持たせ、来庁者が迷わないよう対応する

町長 現在、役場庁舎1階ロビーの在り方を見直し、明るい雰囲気、見通しの

問 町民は、役場窓口申請、手続き相談などいろいろな用事で行くと思うが、たくさんある窓口のどこへ行けばよいか分からない。職員へは仕事をしているの声をかけにくい。案内係に「どうしましたか」と一声かけてもらおうと安心して聞くことができ、用事を済ませることができ。そのために、ロビーに案内係を配置してはどうか。

中河議員の一般質問全編



役場庁舎1階戸籍住民係

良さ、庁舎案内の分かりやすさなどを改善する取り組みを行っている。案内係の配置については、現状の職員体制を考慮すると難しい。町民生活課戸籍住民係に総合案内的な役割を持たせ、来庁者が迷った時の問い合わせ先として明示する。また、職員からの積極的な声かけを指導していく。

役場から町民に発送する文書は誰もが理解できるように内容とし、スマホがなければ分からないような文書にはしないほしい

町長 誰もが分かりやすい文書作成を意識する

問 役場の文書には、QRコードが印刷されているものがあるが、町民にはスマートフォンを持っておらず、読み取れない人もいます。本文のみで内容が理解できるように記載し、より詳しく

く知りたい人のためにQRコードを載せるなどの工夫をしてほしい。

また、職員の積極的な声かけを指導していく。

町長 広報で詳細情報を提供したり、各種参加申込みにQRコードを活用することがあるが、QRコー

ドを読み取る以外に方法がないものとはしていません。一方で、文書の書き方に工夫が足りなかつたものと考え、文書作成においては分かりやすさを意識する。

ハーモニープラザを清水町の観光をPRする場所として、もっと活用したらよいのではないかと

町長 SNSに主力を置き換え、情報発信を行っていく

問 本町には道の駅はないが、今ある施設で清水町をPRすることも大事だ。駅前には観光客が立ち寄っているようであり、土日祝日も開いているハーモニープラザを最大限活用し、景勝地、特産品の紹介・

注文などをできるようにしてほしい。

の展示・販売などを展開してきた。

町長 これまで、ハーモニープラザを観光PRの1つの拠点として、平成28年度から30年度まで職員を配置し、情報発信と土産

の展示・販売などを展開してきた。

しかし、訪れる地元以外の方は少数であり、観光客の傾向を踏まえ、現状はインターネットやSNSなどの情報発信に主力を置き換え、食や景観を発信している。